

みどりみらい 2nd SEASON ぐんじとしのりの議会報告

2003/12/01 Vol. 17 西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362
E-MAIL ID / toshigunji@hotmail.com

印西市議会平成 15 年第 4 回定例会が開催されます。

今回の定例会は 12 月 3 日（水曜日）から 19 日（金曜日）まで行われます。

「ぐんじとしのり」は、9 日（火曜日）午前 11 時 20 分頃から、昼休みをまたぎ、60 分間の個人質問に立ちます。（今回は、「行政改革実施計画について」、「千葉ニュータウンセンターと駐輪場管理について」、「牧の原駅圏の将来」の 3 点を質問テーマとします。）

（その内容は抜粋して後述します。）お時間があるかたは、是非とも傍聴にお越しください。

傍聴を希望される方は、印西市役所 5 階にて諸手続きを行い、傍聴券の交付を受け、傍聴を行うこととなります。尚、定員は 36 名です。よろしくお願い致します。

ぐんじとしのり 12 月定例会 個人質問内容

以下の内容を議会事務局に既に提出し、今回の議会で質問に立ちます。

1. 行政改革実施計画について

市では、本年 4 月に「行政改革大綱（第 2 次改定）」に基づいて、行政改革実施計画を策定し、6 つの骨子と 34 の具体的な実施項目を掲げている。実施計画の内容について問う。

- 1) 「行政評価制度」の導入について、現在どのような検討がされ、市民への公表はどのように行われて行くのか。
- 2) 組織・機構の効率化について、行政課題への横断的組織体制の推進が掲げられているが、2 市 2 村の合併問題以外での重点政策促進組織やプロジェクトはどのようなものがあるのか。
- 3) 行政の情報化の推進には 2 つの実施項目が挙げられているが、電子市民会議室をはじめとする双方向のコミュニケーションについてを提供する場所の提供は今後、どのように行われて行くのか。
また、公共施設の使用についての電子申請 / 予約はいつ頃、可能となるのか。
- 4) 経常経費の削減の方策はどのように検討されているのか。その検討結果は今後、どの事業に、どのようにあらわてくるのか。
- 5) 計画的な財政運営の推進という実施項目があるが、例えば「シルバー人材センター」に対する補助金は適正な事務事業の進行管理とリンクした財源配分であると考えているのか。

2. 千葉ニュータウンセンターと駐輪場管理について

印西牧の原駅前の有料駐輪場は、傍目にみて「空いている」のに「規定台数」だから、もう受けつけていないため、駐輪できないという。

- 1) 規定台数とは何か？
- 2) 空いているのに止められない現状をどのように考えているのか
- 3) 受付時間の改善について、どのように考えるか。
- 4) 千葉ニュータウン中央駅では利用者の不満について、どのような対応をとっているのか。

3. 牧の原駅圏の将来について

(仮称)牧の原駅圏活性化研究会に始まった「千葉ニュータウン Step Up 2010 研究会」は先日、シンポジウムが終了したにも関わらず、何ら牧の原駅圏の活性化に貢献していないように感ずる。今年度の終わりには「千葉ニュータウン Step Up 2010 実行計画」最終案はどのように牧の原駅圏の活性化の指針を出していくのか。

市民のみなさまへ/まちづくり研究会からの脱退について

私は、初当選以来4年半、会派「まちづくり研究会」に所属し、松本隆志議員と共に活動して参りましたが、本年11月をもって、政策上の不一致により脱退することとなりました。

(また、本年4月より「まちづくり研究会」に加わった、増田葉子議員も同時に脱退し、事実上の解散となります。しかし、会派「まちづくり研究会」は今後、松本隆志議員の個人会派として活動を引き続き行って参ります。)

脱退の理由となる、政策上の不一致についてですが、今、現在協議中の「2市2村」の合併についての政策の不一致が見られるためであり、今後の会派としての活動は困難と考えたものです。私は市町村合併に関しては、以前より「慎重派」であり、「多少の困難が伴おうとも60%の合意ができれば今が契機だから早期に合併を推進すべき」であるとする松本隆志議員とは共同歩調をとれないと判断したものです。

私は、今でも、千葉ニュータウンの将来のためには、2市2村の合併は必要であると考えます。

それは、産業振興と交流人口の増大による賑わいを創出し、広域的な視点から地域の主体性と創造性を生かした都市づくりに積極的に取り組んでいくことが可能だと考えるのが理由で、「最終的には必要」であり、推進の立場を取ります。

しかし、市民の関心は低調であり、新市建設計画についての説明会への参加者も少ない(開催時間にも私は問題があると考えています。)現在、一部の意見のみで、全てを代弁するが如く進む法定合併協議会の手法、そして、各自治体の合併に対する情報提供の方法については、私には到底賛意を示せるものではありません。また、白井市では合併に関して、疑問をもつ市民が、住民投票条例の制定を求め、市議会に請願を提出しております。しかし、印西市では条例の制定さえ話題にならず、このままでいくと市民が1度も合併についての賛否を示せぬまま、気がついたら合併が行われていた。。。と言う結果にもなりかねません。

私は市民大多数の意向が何らかの形で疑問の余地なく明らかにされるまで、合併についての議論は徹底的に行うべきではないかと考えています。

第5回臨時会が開催されました。

11月25日(火曜日)に「平成15年印西市議会第5回臨時会」が開催されました。

(1) 専決処分の承認を求めることについて

一般会計の補正予算(歳入歳出それぞれに1657万2千円を追加し、市の歳入歳出予算を195億3070万7千円)についての審議が行われました。

今回の専決処分は衆議院選挙に伴う職員人件費や選挙に要する経費の補正によるものでしたが、今回、印西市の開票が他市町村に比べ大幅に遅れたため、その責任を追求する多くの議員からの質疑が相次ぎました。(結果は可決。<私も賛成しました>)

(2) 「職員給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について」

全ての職員の給料月額において、人事院勧告および千葉県人事委員会勧告の内容に準じて引き下げが行われ、同時に扶養手当、期末・勤勉手当、通勤手当の改定も行われました。

(結果は可決。<私も賛成しました>)

いつもご声援、ご支援ありがとうございます。この紙面へのご意見に限らず、市政全般へのご提言、ご批判、皆様からのご相談はいつでも承ります。あるべき市政の姿を求めて皆様と手を携えていきたいと思っております。よろしくお願い致します。

ぐんじとしのり